

## 井波別院瑞泉寺活性化プロジェクト

### コーディネーター研修 02

Newsletter vol.8

日 時：2022年1月13日（木）

会 場：井波別院瑞泉寺

参加者：8名（内本山メンバー2名）

瑞泉寺山門前にできた「テラまち雑貨店」を地域の活動拠点にするため、地域住民と様々な活動を展開できる場を目指します。2回目はコンセプトの事例から雑貨店らしさについて考えました。

#### はじめに

常本輪番さんから

あけましておめでとうございます。2019年の経済産業省の事業から始まったこの取り組みは、2022年を迎えました。前回の研修では、“寄り添う”という言葉を紹介しました。寄り添うという言葉には、ぴたりと体をくっつけるだけではなく、気持ちを引き寄せるという意味もあるそうです。「テラまち雑貨店」にお客さんが引きつけられて、そして瑞泉寺にも思わず来てしまった、なくては困ると思ってもらえる場所にしていきたいと思います。



#### 前回のふりかえり

全3回の研修では、コーディネーターに必要な5つのスキルを学びます。前回はYes, andを心がけながらヒアリングをすることの大切さ、相槌のコツを学びました。宿題では、テラまちコネクトメンバーに地域の魅力やテラまち雑貨店に期待することなどをヒアリングしてきてもらいました。

スキル	内容	1回目	2回目	3回目
発見する力	地域で活動する団体（個人）や地域の課題を探る、発見する	●		
聞く力	抱えている悩みやアイデアを引き出す	●	●	
伝える力	情報を効果的に発信する		●	
考える力	新たな企画やサポートを創造する			●
つなぐ・協力する力	ネットワークを築き、信頼関係をつくる			●

#### 宿題の共有

テラまちコネクトメンバーを対象にヒアリングしてきたことを共有し合いました。なかなか話が続き自分の意見を沢山喋ってしまったなど、実際にやってみて分かった気づきを発表しました。



#### ●ヒアリングの気づき

関係者へのヒアリングだったので、すんなり話が聞けた

SNSでは聞けないことが対面だといろいろ聞けた

1時間くらいかけてゆっくり話が聞けたことで、その人のことがよくわかった

井波愛、瑞泉寺を大切にする気持ちは全員共通していた

自分が喋りすぎてしまった

## キーワードを考える

ヒアリングの結果を共有しながら、コンセプトのキーワードになりそうな言葉を付箋に書き出し、模造紙上で整理しました。ヒアリング結果からは、「楽しい場所」という意見が多く、地元の人々が気軽に訪れることができる、そのためには体験や飲食ができたり、遊べる機会があったらいいという意見が出ました。そんな企画を地域の人たちと一緒に作り、お寺とまちをつなぐ場として、気軽にゆるい雑貨店にしていこうという話になりました。



## テラまち雑貨店のコンセプトを考えよう

テラまち雑貨店のコンセプトを考えるために、まずは様々な企業のコンセプトを集めました。それらのコンセプトを眺めながら、「テラまち雑貨店らしい」もの、逆に「テラまち雑貨店らしくない」ものに分類しながら、なぜ「らしい」と思ったのか、なぜ「らしくない」と思ったのかを言葉にしていきました。



### テラまち雑貨店らしいコンセプト

- ・家族で入れるお店づくり（ハーレーダビットソン）
- ・わざわざ訪れたくなるお店（パンと日用品の店わざわざ）
- ・街の広場になるひらかれた美術館（金沢 21 世紀美術館）
- ・もうひとつの食卓（大戸屋）
- ・もう一つのわが家（リッツ・カールトン・ホテル）
- ・売るのではなく体験を提供する（アップルストア）
- ・まずは、自分たちが面白がろう。つぎに、周囲からも面白い人と言われよう。そして、誰かの人生を面白くしよう。（面白法人カヤック）
- ・心地よい暮らしのヒント（ブックカフェ葉日）
- ・つくる人をつくる。つなげる人をつくる。（ジソウラボ）
- ・生きる力、感じる力、根っこを育む（寺子こどもえん）
- ・人に優しく地球に優しく（ほのぼのマルシェ）

### アットホーム

ほっとできる温かさを感じる  
飾らない、気軽、気楽  
日常  
心地よい、長居できる  
家族のような関係性  
暮らしぶり、生活

日常・暮らし

気持ちや心を大切にしている  
商いが重要ではない

価値観

やっている人も楽しい！  
自分がかかわれる

参加

### テラまち雑貨店らしくないコンセプト

- ・駅メディアから駅ナカ生活センターへ（東京グランスタ）
- ・都心の上質な日常（東京ミッドタウン）
- ・高知の柚子を田舎丸ごとお届け（高知県馬路村農協）

高級感ではない  
消費ではない

## さいごに 常本輪番さんから

以前、お寺は愚痴を言える場所だったという話を聞きました。技術や知識が共有される場所、互いに違うものを見ていた者同士が同じ空間で一緒に思うことができる、お寺がそんな場所になっていくイメージが持てました。

## 次回の案内

1月14日（金）の13時～

@瑞泉寺での開催

コンセプトを固めて、施設概要を作成